第50期（2027年3月期）
第2四半期決算補足資料



STANDARD
TOKYO

アズマハウス株式会社

2026年11月13日

会社概要



会社名	アズマハウス株式会社
英訳名	AZUMA　HOUSE　Co., Ltd.
設立	1977年（昭和52年）5月2日
代表者	代表取締役社長　東　行男
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
従業員数	181名（連結262名）
資本金	5億9,676万円
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）
株主数	3,375名（2026年9月30日現在）　発行済株式数　8,063,400株（2026年9月30日現在）
単元株数	100株　基準日　3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、 アズマファイナンシャルサービス株式会社

社長挨拶（トップコメント）



当社グループにおける第50期第2四半期（2026年7月1日から2026年9月30日）の業績は、前年同期と比較して増収増益となりました。なお、当初予算に対しては売上高は微減となりましたが、経常利益は増益となりました。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用や所得環境に改善がみられる一方で、物価上昇による消費者の節約志向や人手不足の継続に加え、中東情勢等の地政学リスク、建築資材・建築コストの高止まりなど企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあります。また、為替及び金融市場の変動など先行きについても不透明な状況が続いております。また、企業や公共機関を標的としたサイバー攻撃の増加など企業活動における事業継続上のリスクも高まっております。

このような事業環境のもと、当社グループは「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」の経営理念を実現するため、お客様一人ひとりのニーズに寄り添い、品質・サービスの向上と収益性の両立に取り組んでまいりました。

不動産・建設事業においては、住宅取得環境が厳しさを増す中でも、お客様ニーズを取り入れた商品の導入、高品質・高付加価値住宅の提案を継続するとともに、原価の見直しを図り、収益力の向上に努めてまいりました。その結果、セグメント売上高は、前年を上回ったものの予算を少し下回る結果となりましたが、セグメント利益額については、前年の損失よりプラスに転じ、予算についても上回ることとなりました。また、受注残については、前年を下回る結果となりましたが、販売用在庫の適切な確保と工事原価の適正を図り、経済的合理性の確保を重視した販売活動を進めることで、今後の安定的な売上確保に取り組んでまいります。

不動産賃貸事業においては、高い入居率と管理戸数の維持を最優先に、管理サービスの品質向上とオーナー様への提案力を強化し、ストック型収益の維持および拡大を図りました。その結果、セグメント売上高は、前年および予算を上回る結果となりましが、セグメント利益額については、前年および予算を少し下回る結果となりました。当社グループの安定した収益基盤として、継続的なキャッシュ・フローの創出に貢献するとともにセグメント間シナジー効果を最大限に活かした営業活動を推進してまいります。

資産活用事業においては、相続・資産承継や資産活用など、多様化するお客様ニーズに対応するため、不動産・建設事業および不動産賃貸事業との連携を強化するとともに総合不動産企業として最適なソリューションを提供してまいりました。その結果、セグメント売上高は、前年を上回る結果となりましたが、予算については下回る結果となりました。セグメント利益額については、前年を上回る結果となりましたが、予算については、少し下回る結果となりました。受注残の積み上げは前年を上回る状況とはなっておりますが、高い入居率の維持と安定した利回りの確保を背景に、着実な販売活動を推進してまいります。

ホテル事業につきましては、インバウンド需要が減少するなか、各スポーツ大会の開催などにより、需要は堅調に推移しました。一方で、人件費や食材原価などコスト上昇に対しては、適切な価格戦略と徹底した原価管理を進め、収益性の改善に取り組んでまいりました。その結果、セグメント売上高については、前年を少し下回る結果となりましたが、予算については、上回る結果となりました。セグメント利益額については、前年および予算を上回る結果となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、依然として不透明ではありますが、リスク・マネジメントを強化し、全てのセグメントに情報の管理を徹底することで、お客様情報の安全性の確保に注力してまいります。

また、地域社会への貢献や、サステナビリティへの取組みも重要な経営課題として位置づけ「人も環境も健康に」の基本方針のもと地域に愛される企業として、社会的責任を果たすとともに安定的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

株主・投資家の皆様をはじめ、お客様・お取引先様、地域の皆様のご期待にお応えできるよう従業員一同、一層努力してまいります。今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アズマハウスは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

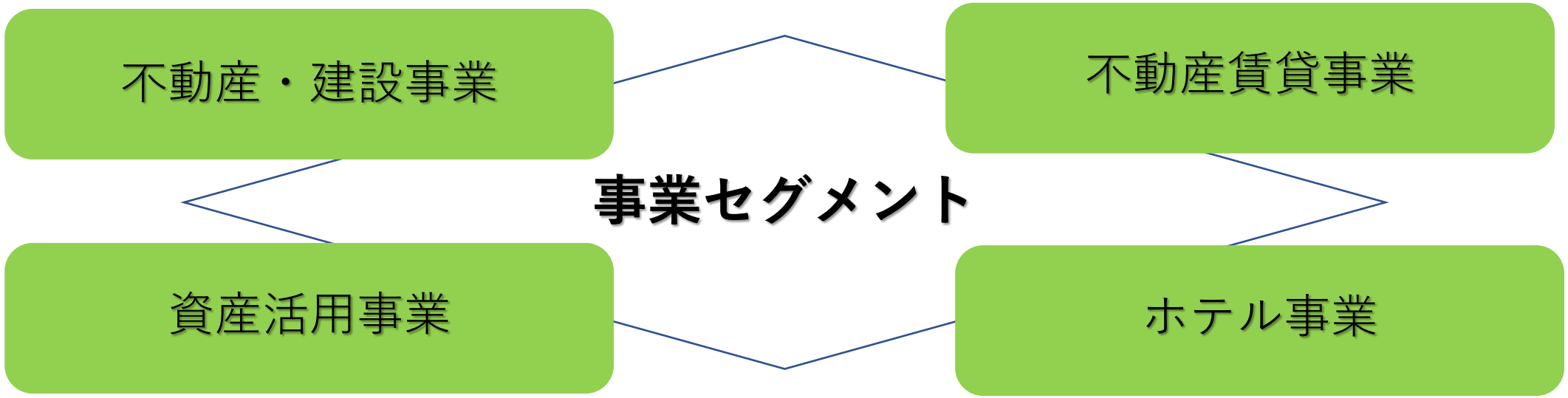
事業概要

～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「**より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために**」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

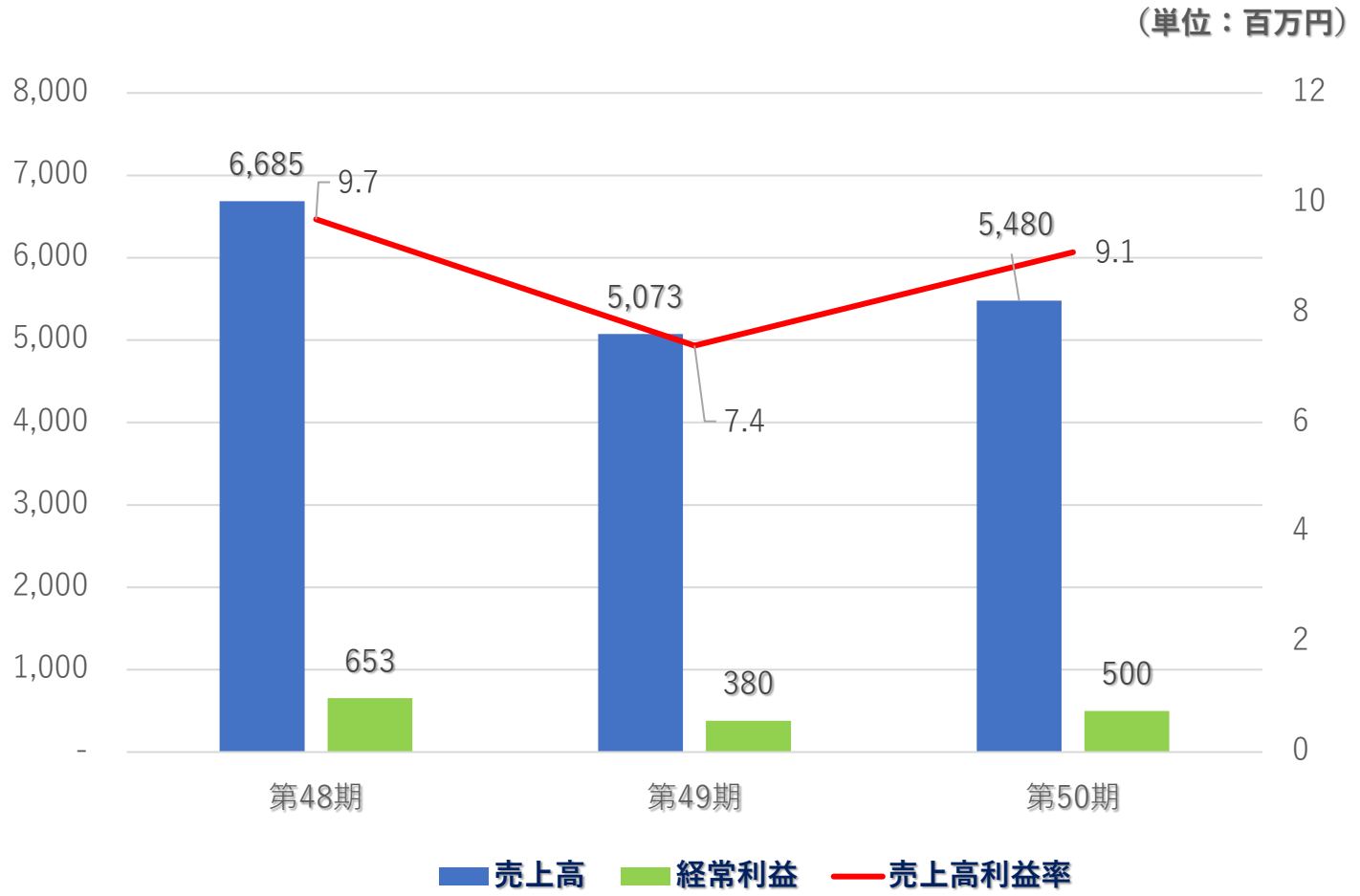
～サステナビリティ基本方針～

「人も環境も健康に」



連結決算（サマリー）

売上高・経常利益・売上高利益率の推移



第50期売上目標　11,659百万円
（第2Q：5,508百万円）

第50期経常利益目標　989百万円
（第2Q：475百万円）

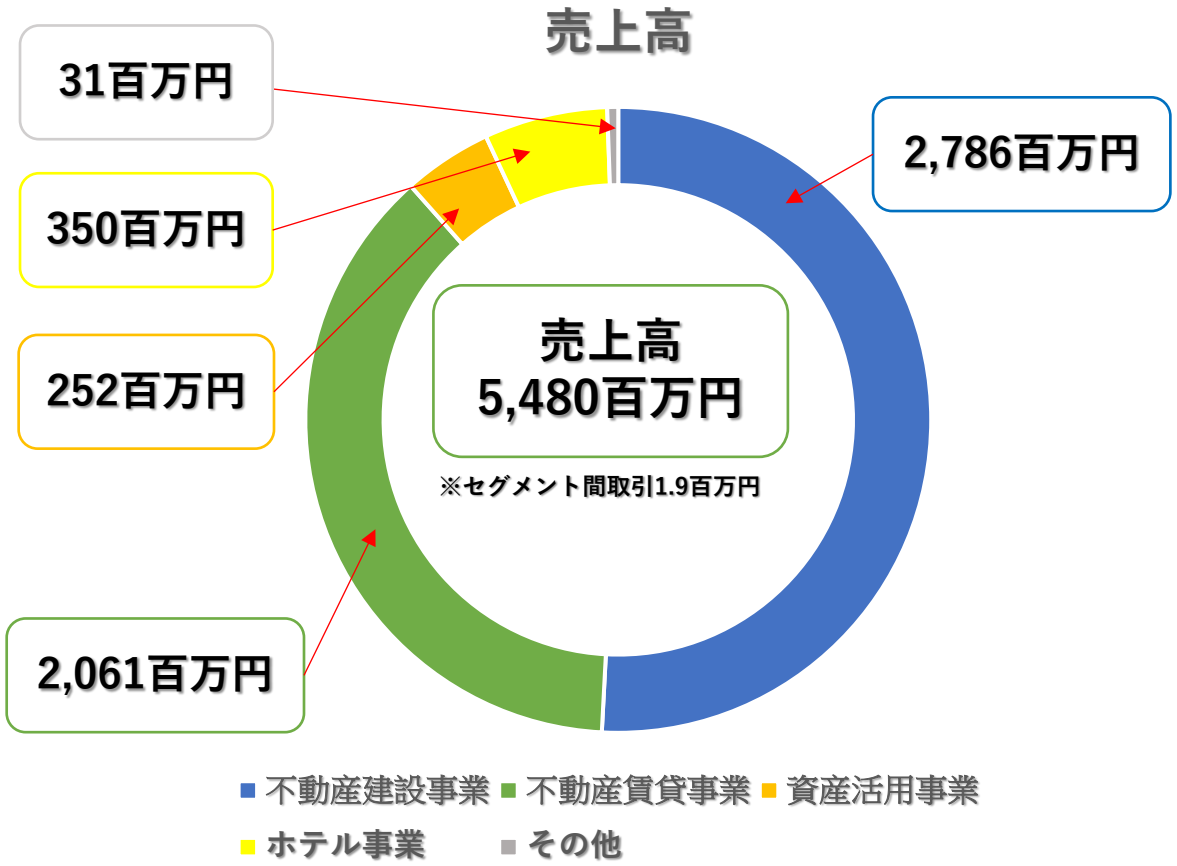
売上高　5,480百万円
（予算比99.50%）

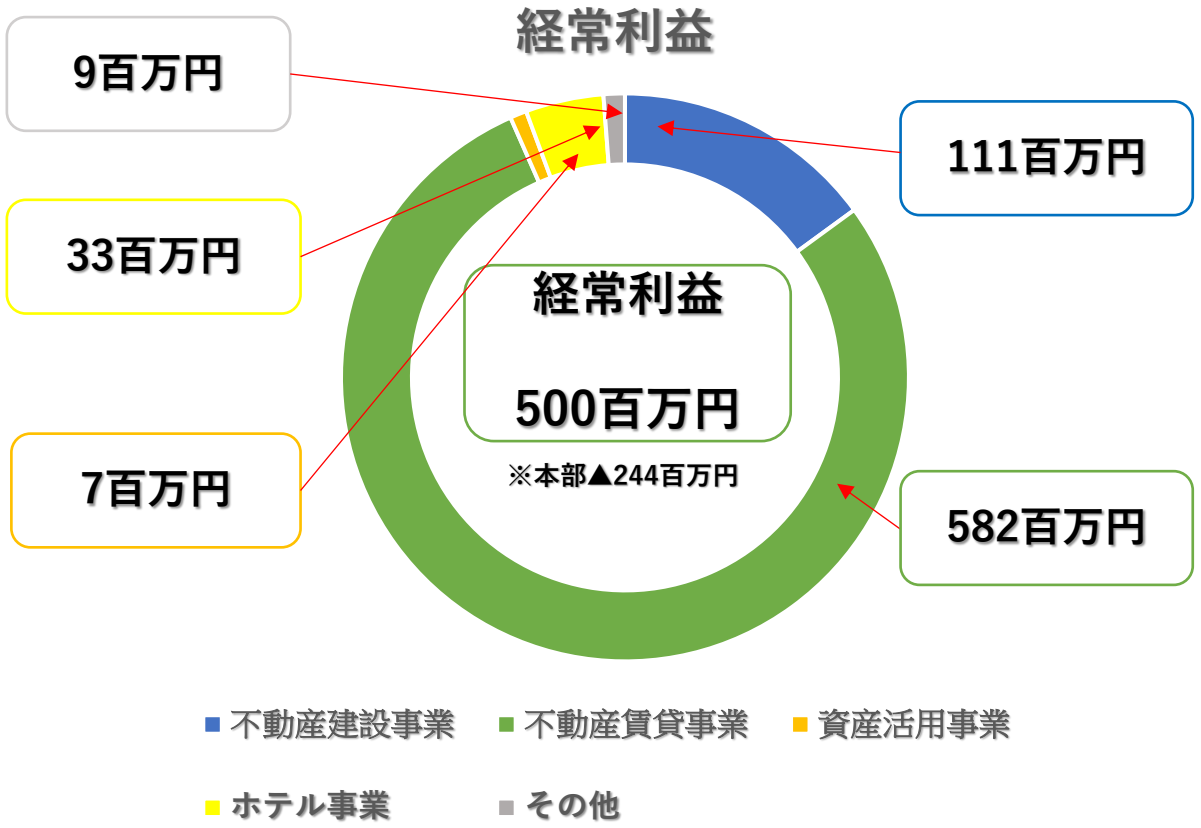
経常利益　500百万円
（予算比105.46%）

売上高利益率
9.1%
（目標8.0%）

連結決算（セグメント比）

※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。

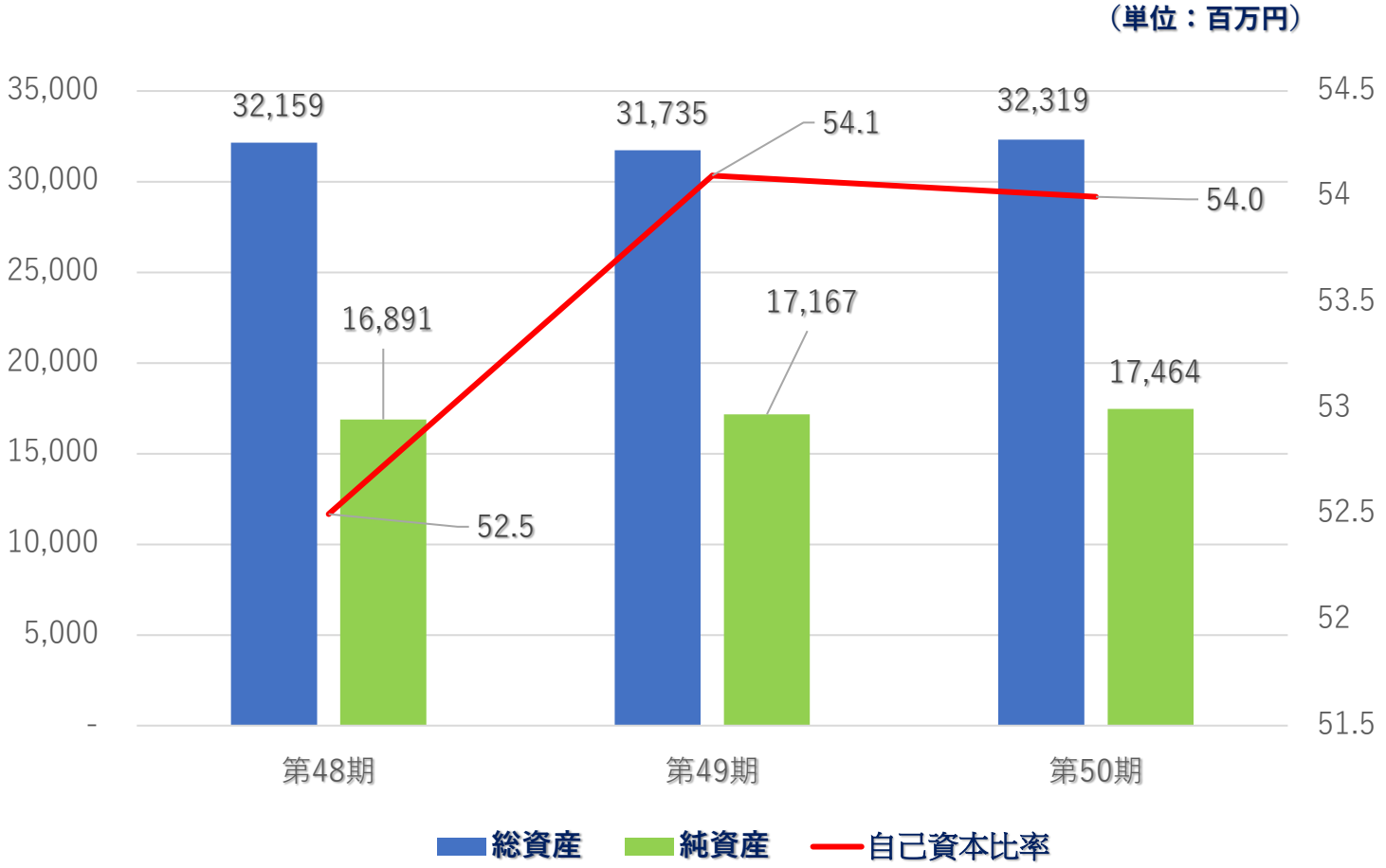


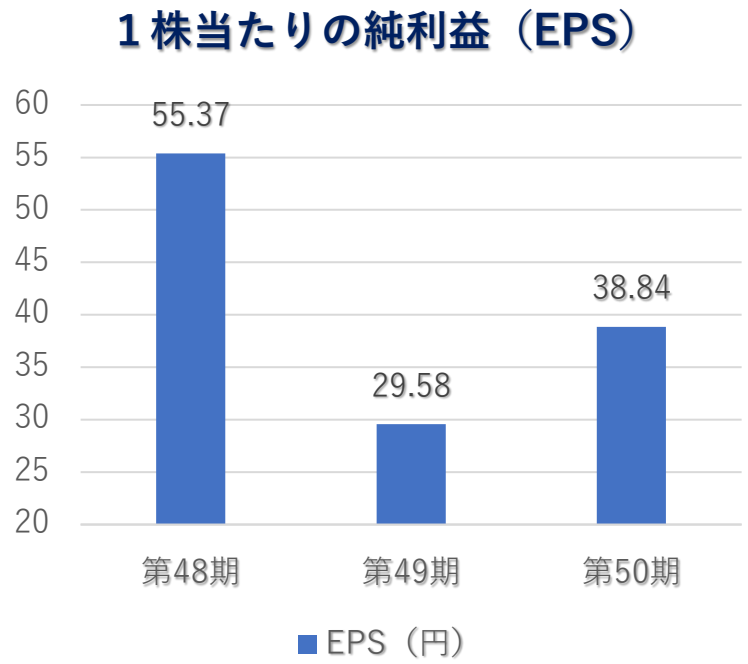


※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

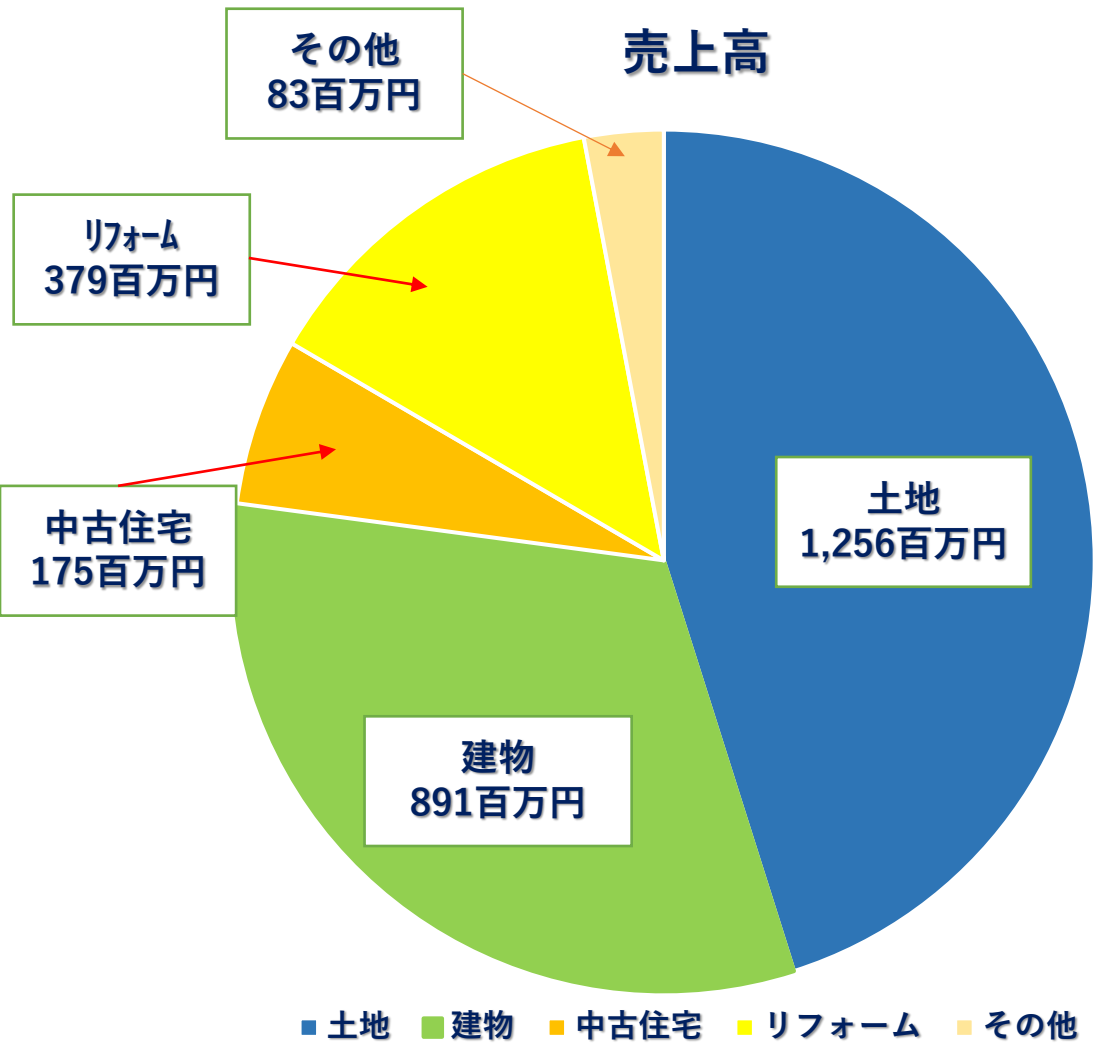
連結決算（サマリー）

総資産・純資産・自己資本比率の推移



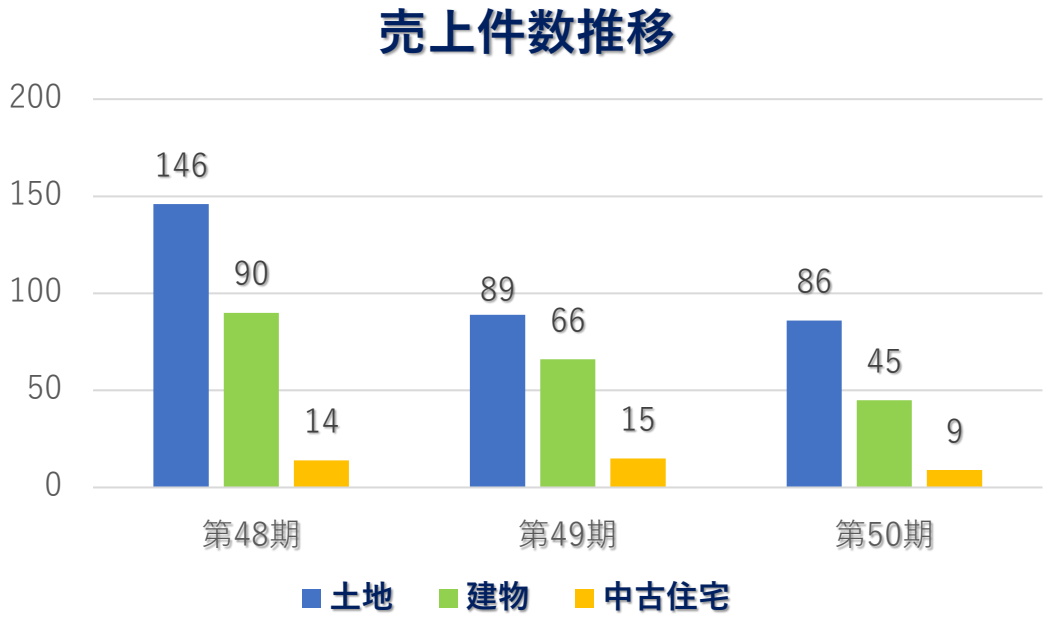


セグメント別実績（不動産・建設事業）



セグメント売上高2,786百万円
（第2Q予算：2,870百万円）
（前年同期比111.90%：予算比97.08%）

セグメント利益　111百万円
（第2Q予算：69百万円）
（前年同期はセグメント損失　69百万円：予算比160.18%）

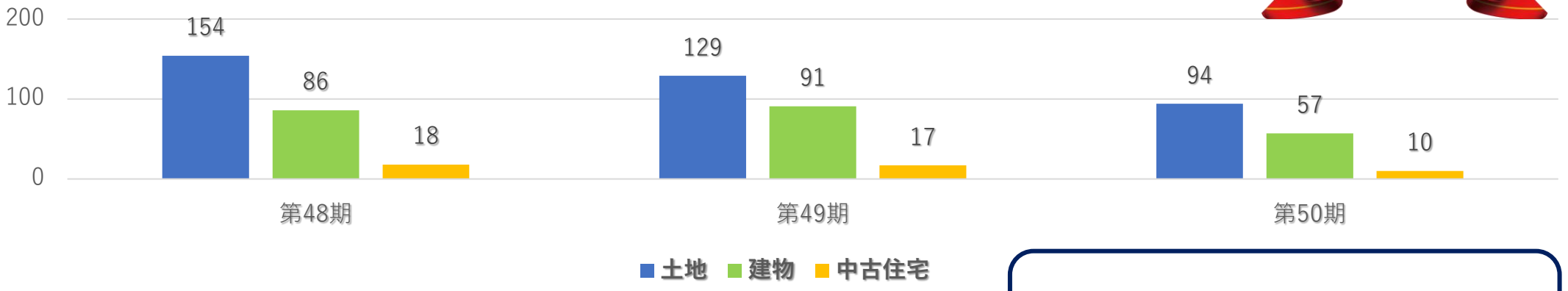


セグメント別実績（不動産・建設事業）

受注件数・受注残件数推移

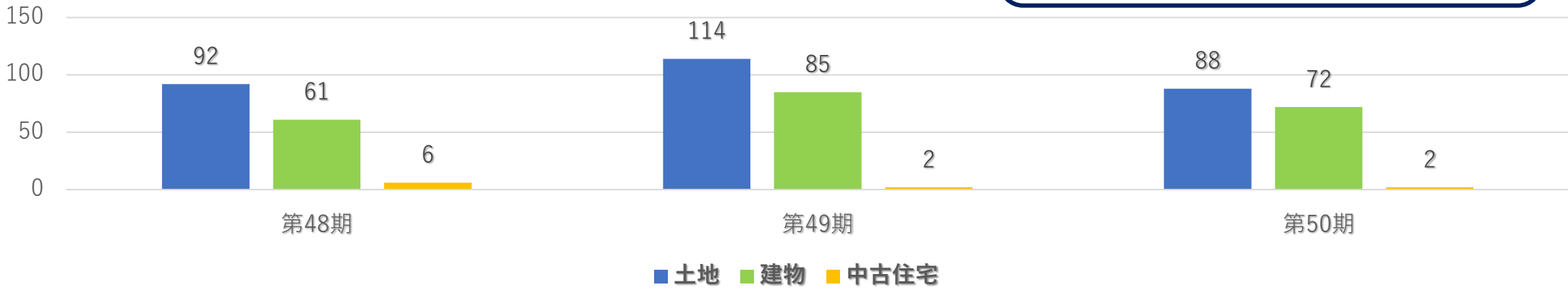


受注件数の推移



受注残額は、前年比93.79％

受注残件数の推移

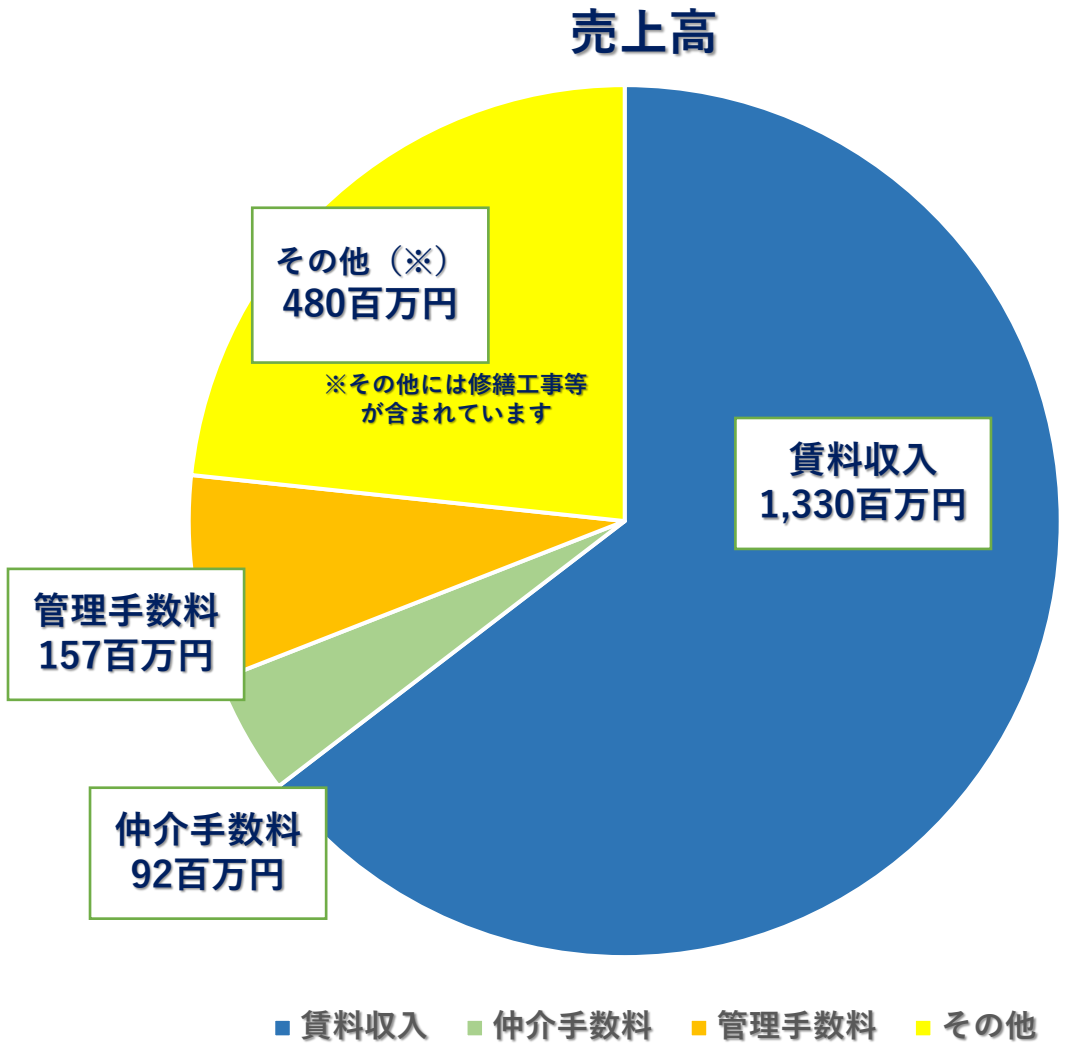


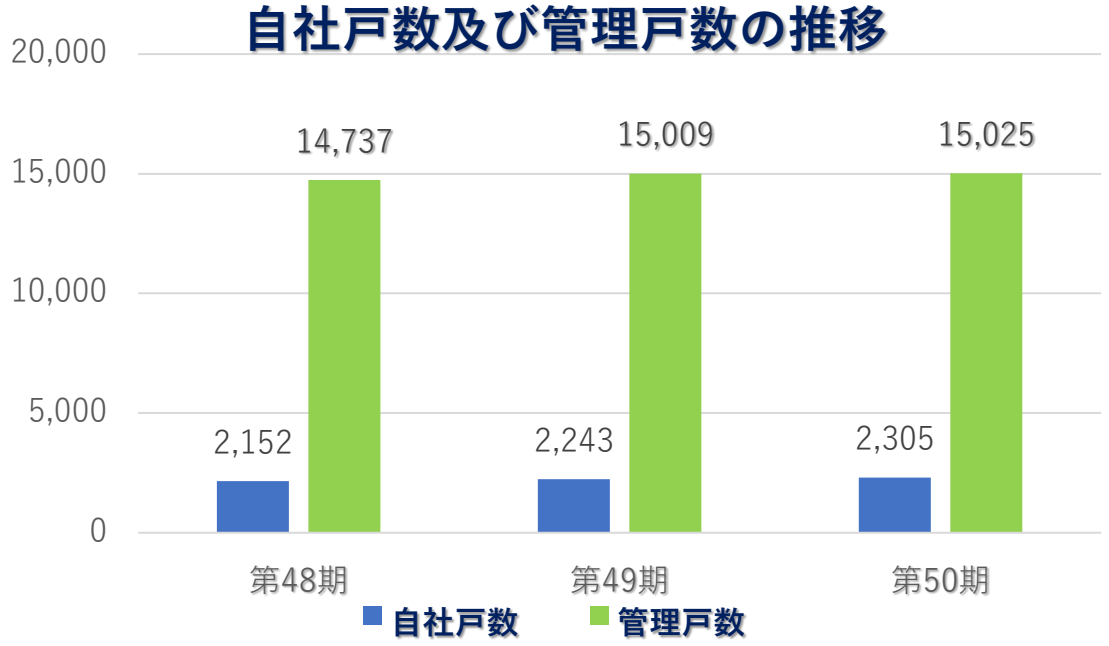
セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率　95.89%

セグメント売上高　2,061百万円
（第2Q予算:2,024百万円）
（前年同期比102.70%：予算比101.84%）

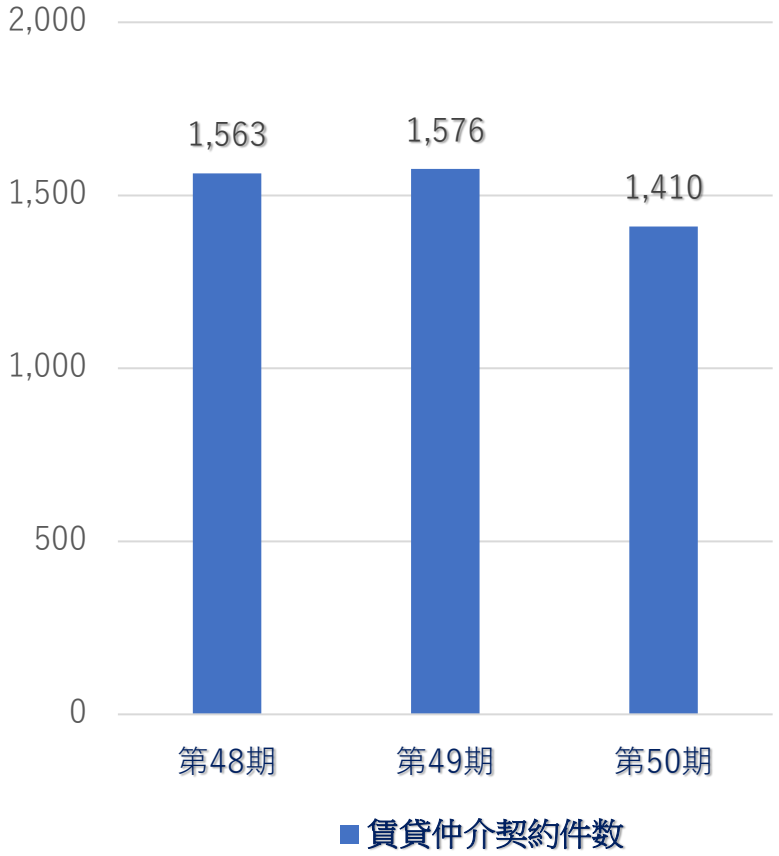
セグメント利益　582百万円
（第2Q予算：585百万円）
（前年同期比93.40%：予算比99.57%）





セグメント別実績（不動産賃貸事業）

賃貸仲介契約件数の推移







アイワグループ

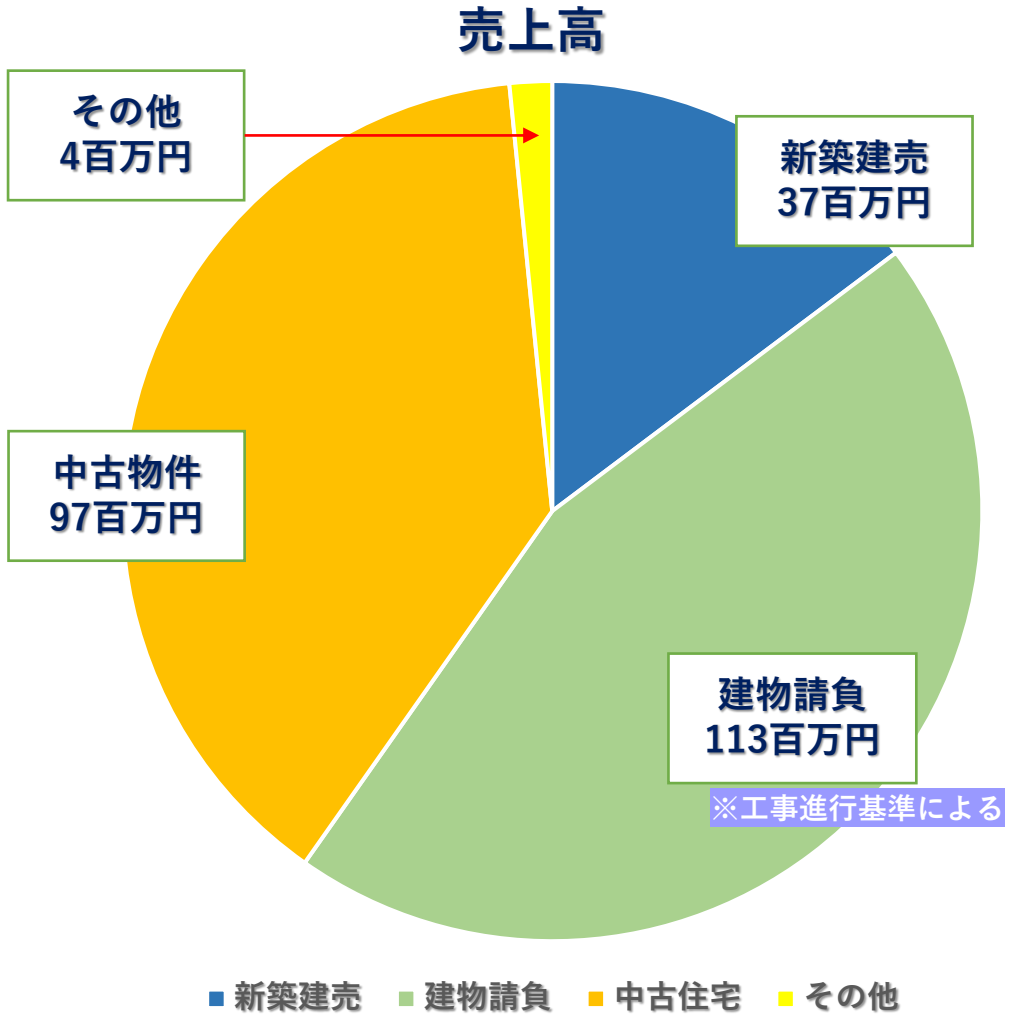
管理物件入居率
86.34%

Alliance　Information

和歌山県職員労働組合指定/和歌山市職員互助会指定/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学　和歌山看護学部指定/和歌山信愛短期大学専属指定（順不同）

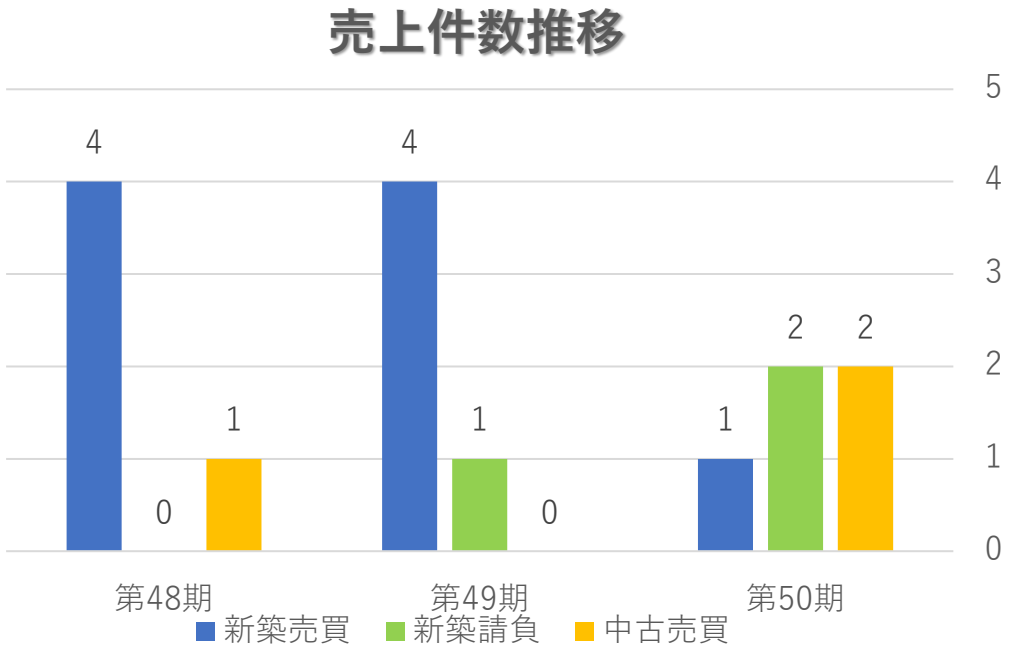
セグメント別実績（資産活用事業）

売上高・売上件数

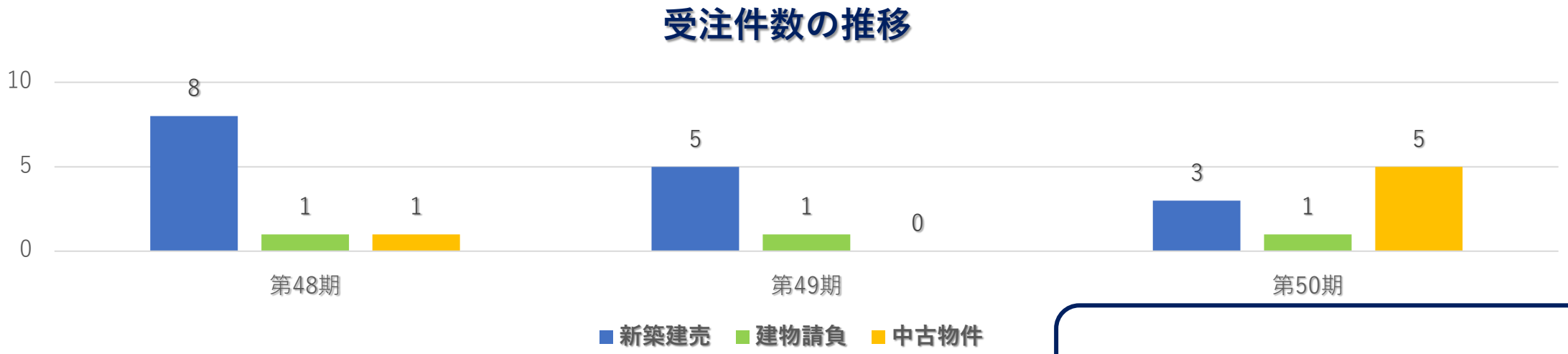


セグメント売上高　252百万円
（第2Q予算：253百万円）
（前年同期比137.30%：予算比99.79%）

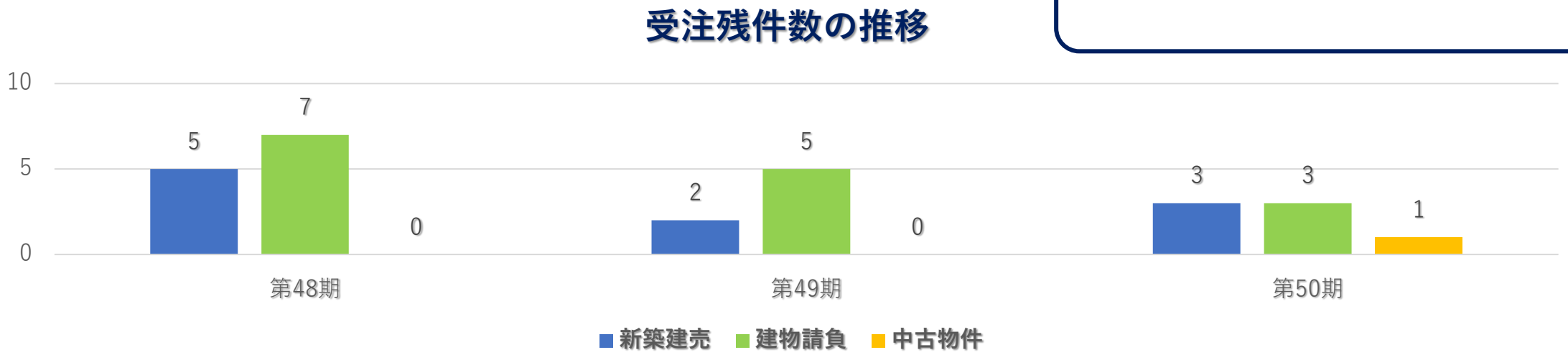
セグメント利益　7百万円
（第2Q予算：8百万円）
（前年同期比142.70%：予算比87.5%）



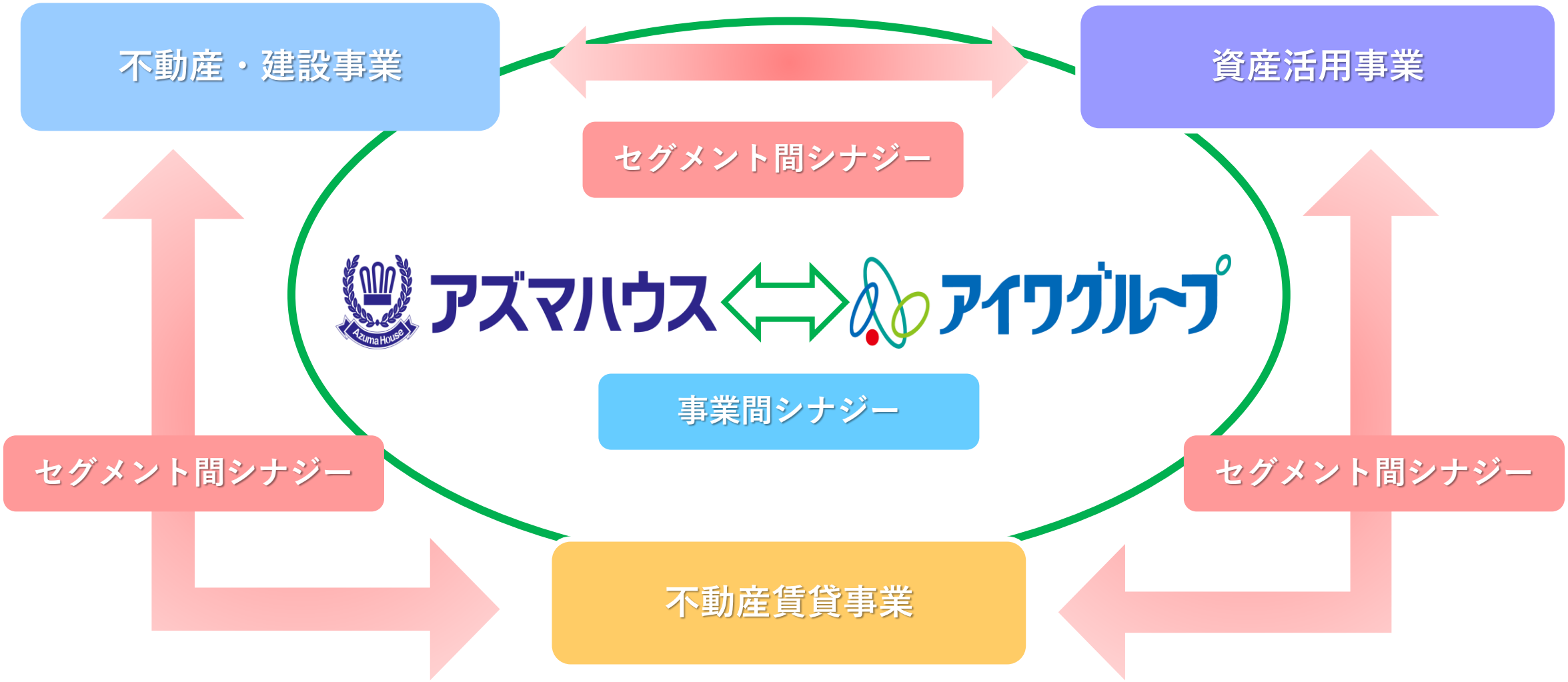
セグメント別実績（資産活用事業）



受注残額は、前年比147.59%



セグメント間シナジー

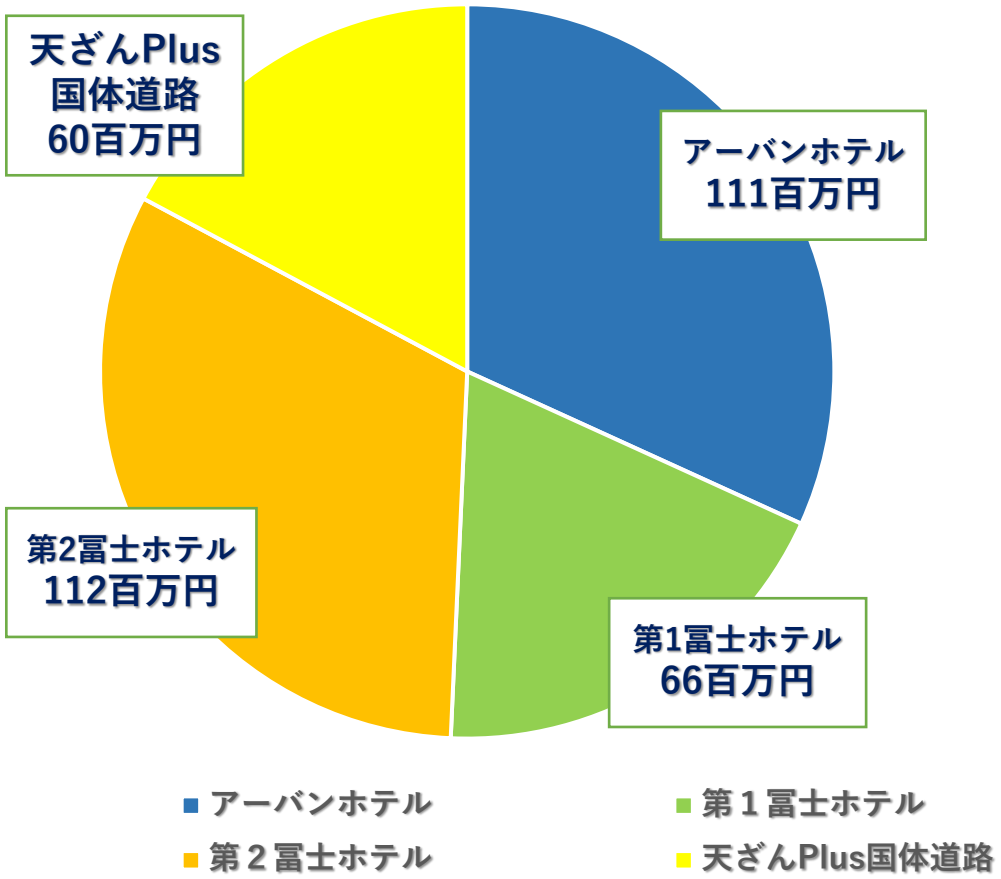

不動産・建設事業
資産活用事業
セグメント間シナジー
アズマハウス
アイワグループ
事業間シナジー
セグメント間シナジー
セグメント間シナジー
不動産賃貸事業

セグメント別実績（ホテル事業）

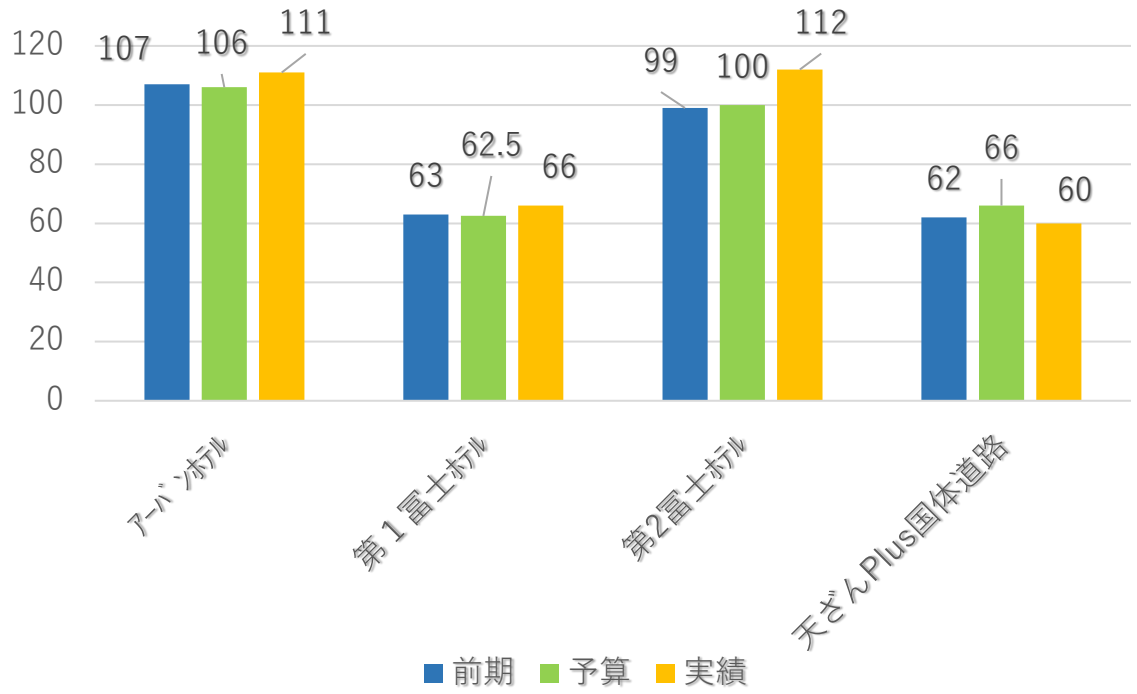
セグメント売上高　350百万円
（第2Q予算：335百万円）
（前年同期比94.40%：予算比104.47%）

セグメント利益　33百万円
（第2Q予算：25百万円）
（前年同期比130.60%：予算比132.85%）

売上高



前年同期・予算比較（単位：百万円）



ESG	マテリアリティ	取組テーマ	取組内容	SDGs
Environment	住み続けられるまちづくり	リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献	中古住宅再生事業、ストック事業の推進	
	住環境の向上	高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを実践	耐震等級３レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止	
Social	地域社会への貢献	地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献 	こども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、「アルテリーヴォ和歌山」プラチナスポンサー、「和歌山ジャズマラソン」協賛、「和歌山城クリテリウム2026」の協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト(BWSC2025)の協賛、「和歌山ではたらく車 大集合！」メインスポンサー、日本赤十字社の活動支援、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームデイ・アット・ザ・ズー2025inアドベンチャーワールドの協賛、パートナーシップ構築宣言、第49回全国育樹祭の協賛	
Governance	人権	ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み  	「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2026（中小規模法人）」の認定、「あいサポート企業」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、コーポレートガバナンス、コンプライアンス 	

記載情報について

・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ
アズマハウス株式会社　経営企画部
電話　073-475-1018
E-Mail：ir_kanri@azumahouse.jp
URL：https://azumahouse.com